

月刊



編集発行 一般社団法人 西宮市老人クラブ連合会 〒663-8233 西宮市津門川町2-28 西宮市福祉会館 電話 0798-34-3334

こんにちは！「あいさつ」から広がる友愛活動



「コスモス」 写真提供 田中 積氏 (用海校区)

葉っぱだけで主役のはれる役者がさろう里山
ことしも見事な秋色を演じ人々をいざなうであろう
遠く近く俯する太鼓の響き 伝承される勇壮なまつりが
ふるさとへの想いを熱くよびおこす
破壊と再生が向き合う中で生きてきたこの国…
テレビは未来展望として、「健康住宅」を映し出す
よもや まさかの小さいためらいを捨て
身を守ることに敏感であれと報じていた



近年の日本は人口減で
少子化が止まらず、反面
超高齢化社会に突入。日
本人の平均寿命は、男性
が初めて80歳を超え女性

は86・6歳、2年連続世界一となつた。厚生労働白書では、医療費抑制、入院食事代の引き上げ論も囁かれています。「老老介護」はごく当たり前で高齢者を狙う詐欺も多い。▼しかし、健康で長生きしたいとの思いは誰しも同じ。我々高齢者自身もいかに健康を保持するかの努力が必要である。スポーツジムに、趣味に、背筋を伸ばして歩く、友と美味しいお茶を飲み昔を語るもよい。心身、そして頭も元気でいたいものである。▼8月、広島での大規模土砂災害の悲惨な報道に心を痛めた。その中で明るいニュースがあった。高校生たち多くの若者がボランティアとして駆け付けたことである。我が国の将来は、まだ、明るい光が見えている。▼高齢者には、体力を要するボランティアは出来ないが地域での小学生登下校時の見守り活動は定着している。その他、孤育てに陥っているママの話し相手なら出来るのでは？▼若い世代に出来るだけ迷惑をかけないよう、自分の健康寿命を維持しつつ社会の一員としてしっかり地に足をつけて歩みたいものである。(北夙川 河瀬)

市老連理事会 9 / 10

※奈良の(株)飛鳥荘から

「日帰り研修旅行のご案内」

【議案事項】

①県老連への再加盟(提案)について

②北部校区からの要望について

【報告事項】

〈広報部〉

・委員会開催案内

(10月17日 13時30分)

・月刊「いぶき」

(第181号8・9月号) 発行済

・月刊「いぶき」

(第183号11月号)

原稿依頼(原稿締切10月8日水)

〈文化教養部〉

・高齢者作品展 10月7日(火)～10日(金)

西宮市立市民ギャラリー

出展受付 9月16日(火)～18日(木)

9時30分～16時

西宮老人福祉センター

・高齢者芸能大会

本選10月30日(木)

13時 勤労会館ホール

予選10月22日(水)10時

西宮老人福祉センター

・カラオケ教室

11月7日、14日、21日(各金)

13時 西宮老人福祉センター

〈体育部〉

・委員会開催案内

(9月12日 13時30分)

・第2回グラウンドゴルフ大会
10月3日(金) 9時
大阪ガス今津総合グラウンド

雨天の場合、10月14日(火)

・第2回高齢者のたのしい体力測定
11月14日(金) 9時30分、12時30分

大阪ガス今津総合グラウンド体育館

〈女性部〉

・委員会 11月28日(金) 10時30分

・健康講座 11月28日(金) 13時30分

西宮老人福祉センター

〈プロジェクト部〉

①市老連「愛称募集」

(矢野チームリーダー)の報告

②会員増強

(片山チームリーダー)の報告

③単位老人クラブ活性化支援

(門脇チームリーダー)の報告

④ことばきバス積立金

(塩川チームリーダー)の報告

〈三役会〉

・前事務局長の送別会の開催案内

・各単老および校区老連の規約について

〈事務局〉

・ことばき研修バス(12月)の割当

年内12月22日まで

・校区助成金の配布

(@2,000円×単老クラブ数)

・友愛訪問運動資金の配布

(@5,000円×寝たきり人数)

※次回の定例会

10月8日(水) 西宮老人福祉センター

三役会…10時

理事会…13時30分

老人クラブ連合会

校区会長便り No.19

香櫨園の歴史

香櫨園校区 会長 盛 久米一

わが連合会の香櫨園という名称は町名にはなく、現在の阪急夙川駅から北の辺りから浜までは「森具村」であった。明治33年頃、夙川駅南の広い土地に、片鉾池にウォーターシュートまでもある一大遊園地ができた。この遊園地を造った2名の実業家の頭文字をとって「香櫨園」と名付けられたのが始まりである。

「森具村」は、現在の2号線辺りに集落があり、その中を旧西国街道が走る農村であったが、南側は水田で、年中水に浸かっていた。

昭和40年頃、排水ポンプ場が出来て、家屋やマンションが次々と建ち、香櫨園小学校は昭和32年、浜脇小学校から分離独立。33年香櫨園小学校として開校したが、程なく校舎を増設するまでに至った。

同じく、昭和33年12月、香櫨園老人クラブ連合会の初代会長であった安井忠太郎氏他7名で西宮市老友連合会運営委員会を結成する。翌34年に、西宮市老友会連合会を発足させた。

以後55年の歴史を刻み、平成25年10月には「香櫨園老人クラブ結成55周年記念式典」を西宮神社会館で盛大に開催した。全員で会員の健康を願い、友愛・奉仕の精神の向上を誓った。

西宮酒造界を発展させた女丈夫

浜脇校区 会長 辻 和慶

辰馬家は酒造界の大御所であり、中でも全国にその名を知られている辰馬きよ子は文化6年第10代吉左衛門の娘として生まれ、幼少から聡明でしっかりしていた。成長して夫を迎えたのが第11代吉左衛門。12人の子に恵まれ、四男喜十郎は精米動力に蒸氣力を、酒造用燃料に石炭を用い、一旋風を吹き込み南辰馬家を創立した。きよ子は男勝りで夫を助け家業に精励した。出火した時も焼け跡をすぐに片付け倉庫を再建するなど敏速に回復させ、彼女の名は江戸でも評判になった。

1851年丹波出身の少年久一の子を見抜き店員に起用、後の名番頭辰馬栄之助である。1855年夫が他界すると一人で辰馬家を支え、使用人の協力を得て家業を拡大した。栄之助の献策で江戸へ酒送りを自前の船で輸送した。辰馬汽船の創設である。栄之助は「銘酒白鹿」の販売網を全国に拡大していった。彼女は家が富み栄え隆盛になっても質素儉約な生活を押し通し、明治34年91歳でこの世を去った。

辰馬家は学校、市庁舎、図書館、市民病院などに寄付したものが多く、(郷土百人の先覚者より抜粋)

第5回 宍粟市老人クラブとの交流会 7月16日

宍粟市は兵庫県の最北西に位置し、岡山県と鳥取県に隣接した山青く水清き県下2番目の面積を誇る市で、宍粟市老人クラブ連合会は山崎・波賀・千種・一宮の4支部から構成されています。

初回平成21年11月に訪問した時には県下にこのような美しい森がある事にまず驚きました。山々に囲まれた街並み。とうとうと流れる千種川、大小の滝・湧水の名所など。

さて、今回も山々の中をバスはどんどん走って1時間。やっと、ちくさ高原に到着。大段連合会長の出迎えを受け、冬季はスキー場、今は傾斜に沿って色とりどりの百合の花で埋め尽くされています。リフトで頂上まで上がりましたが、下から見るより角度があり、汗をかきながら百合花を觀賞、下山。船曳副会長のあいさつの後、山の幸の昼食。「わたらの里学習館」で古代より伝わる、岩鉄から鉄の抽出法の説明を受けました。千種町には天小屋・三室鉄山など鉄山遺跡が点在しているとのこと。帰路のバス中で今回も清水会長様からたくさんの野菜を頂戴しました。また、宍粟市老連から各自に百合花鉢のプレゼントもありました。

お世話になりました宍粟市老連の皆さま、誠にありがとうございました。

(西宮市老連 広報部)

「金封入れ」作りに参加して

鳴尾東校区第2松寿クラブ 宮本紀美子

7月24日、当校区女性部主催の金封入れ作りに参加。酷暑にもかかわらず、30余名の参加者がありました。古結校区長の広報が行き届いた事もさることながら東校区の皆さんの関心の深さに二重の驚きです。

児玉部長の説明を聞き、鈍った手先で少しずつ形に仕上がっていくのを期待しつつ2枚も作り上げる事ができました。全員が楽しみながら和気あいあいと地域を超え、制作に励み何とか満足いく「金封入れ」が完成したことに久々の充実感と満足感を味わいました。

毎年、女性部がいろいろな物づくりを企画していただけるのを楽しみにしています。お世話された方々本当にありがとうございます。



体育部からのお知らせ

体育部副部長 群馬 和高

まずは前副理事長常松氏・親分肌で率先垂範してくれた古結部長の両氏にお礼申し上げます。後任に山本副理事長、中村部長が選任され「楽しい体力測定」ほか無事終了。時系列に表にすると。

月日	種目	参加人数
5.23	GG大会	280名
6.10	体力測定	78名
7.4	吹矢大会	16名
9.3	ボウリング	121名
9.4	同上	157名

大会では中村部長と山本副理事長の挨拶の後、各行事のスムーズにとり行われました。中村部長の長年の経験と、人徳によるところ大と思つています。

委員は整然とした役割分担で始終動き、各個人の風格すら感じました。

今後の問題点として、①体力測定は年ごとに参加者は減少気味ですが「生き生き体操」が増え、それに起因しているとも考えます。各校区のバラツキもありますが、体育委員の協力でクリ

アしていききたい。②吹矢大会も参加者が少ない。未経験の方々にも声をかけ、大会で講習を受けながらの参加とする、専門的な指導者がいなく、講習を各地で行っていないのが大きな原因と考えられる。8月22日の委員会でも、以上の問題点や、予算に関して、その他諸問題など次年度に向けて検討する方向で決まりました。

体育部の主な目的は「介護予防」であり「健康の維持」と「親睦」「ふれあいコミュニケーション」です。諸事業を通じて皆さんが交流し、なお一層親睦の輪を広げていただければ幸いです。



平和への思い

生瀬校区 青葉台むつみ会

児玉 典代 (73)

広島に新型爆弾が落とされたそうだ！という噂、出張中の父は2~3日たっても帰ってこなかった。広島から100km奥の、小さな私の町にも大勢の被爆者の避難があった。誰もがひどい火傷とけが。

父が帰らぬため母が捜しに向かったが汽車は入れず線路沿いに広島へ。しかしそこは見渡す限りの焼け野原。水を求めて苦しむ人たち、息絶えて横たわる遺体。父の行方など捜しようもなく、ただ待つのみだったと。

1週間後大けがを負って帰ってきた。原爆で倒壊したビルの下敷きに掘り出し、かろうじて動く左手で壁土を次々と脱出した。救護所では収容者は次々と死んでいき、庭では連日山積みされた死体を石油で焼かれるさまを、眺めるうちに意を決して帰ろうと。しかし20日余りで父の命は尽きました。69年の歳月はたったが原爆の爪跡は消えることはありません。集团的自衛権で日本が来た道を、歩むことにならなければよいと心から願う一人です。

心のひろば



いぶき 8・9月号より続
中島 満氏 手記より抜粋

ブーケンビル
(墓島) にて

夙川校区
元陸軍少尉 遠藤 毅

私は今夜の夜襲には重機の援護が必
要と考えた。後方の中隊長に諮ったと
ころ大熊少尉が部下と共に重機を搬入
し、攻撃態勢を整え、暮れると同時に
一斉攻撃に入った。重機が一連の弾、
30発を撃つか撃たないかで故障し、修

理不能となってしまうた。やむなく大
熊少尉を私と一緒に歩兵として夜間攻
撃に加わってもらった。少尉は初めて
の戦闘参加なので、立射は危険につき
くれぐれも注意していたが、戦闘が激
しくなり手榴弾の雨になった。少尉は、
つい立射の姿勢で射撃したところ敵弾
が少尉の腹部を貫通し、即死に近い戦
死だった。明け方近くまで戦い、よう
やく陣地を奪い取った。
敵は死体を7体ほど残して退却して
いた。我が方も私以下5名になり陣地
維持に不安を感じる。夕刻から予想通
り激しい砲撃が始まった。昼夜3日間

いをしていた。その頃、前方の米軍は
砲弾の搬入に力を入れジープの音が盛
んにしていた。2〜300mもある絶
壁をなぜ自動車で登れるのか不思議
だったが、終戦後に分かったがエレ
ベーターを設置していたと聞いた。今
更のごとく力の差を感じた。1週間も
ジープの音がして、激しい砲撃が始ま
り今まで以上の口径の大きい大砲で集
中砲火を連続で何日間も止むことなく
撃ってくる。約10日でジャングルはま
た裸に。陣地を中心に約70mは立木は
なくなり、砲弾の跡が月表面のような
アバタ面になり、壕のみが穴のように
残っていた。このような裸陣地になる
と小さな飛行機が毎日50mの超低空で
陣地上を旋回し、歩兵と無線連絡を取
りながら壕に命中させるべくやってき
たが、壕に直撃を加えることは難しく
こちらの地形の利もあつて手強い陣地
と言えそうだった。

しだった。
或る夜中、砲声の内に空砲が聞こえ
た。不思議に思つて注意していると夜
中に空砲が混じると必ず翌早朝に砲撃
があり、その後歩兵の突入があること
が分かった。それ以後午前1時ごろ迄
は空砲の合図を確認することが大切な
仕事となった。空砲のあつた時、私は
午前4時前後に各壕を廻つて「今日は
間もなく来るから5mほど前に来たら
撃つよう」と言つて回つた。
(11月号に続く)

10・11月の行事予定

10月3日(金)	グラウンドゴルフ大会	9:00
7日~10日	高齢者作品展 (展示)	10:00~16:00
8日(水)	三役会 理事会	10:00 13:30
10日(金)	高齢者作品展 (講評) 高齢者作品展 (表彰)	12:00 13:00
14日(火)	グラウンドゴルフ大会 (予備日)	9:00
17日(金)	広報部委員会	13:30
22日(水)	高齢者芸能大会 (予選)	10:00
30日(木)	高齢者芸能大会 (本選)	13:00
11月7日、14日、21日 各(金)	カラオケ教室	13:00
12日(水)	三役会 理事会	10:00 13:30

でジャングルは
裸になり、大木
のみが残ってい
た。食糧補給も
困難を極め、ま
たジャングルの
中に後退、新た
な陣地の構築を
始める。今度は
前回のような猛
烈な砲撃にも耐
えるように壕を
頑丈な造りに
し、強い陣地を
造った。敵は絶
えず斥候を送り
我が陣地を偵
察、時々小競合

当時の食糧は芋の切干が1食に3〜
4枚とジャングル菜葉を着弾の穴に
溜った水で炊いたもの、または椰子の
コブラを焼いて半分炭のようになった
ものなどだった。これを食べると口の
周りが黒くなつてまるで先住民の顔に
なつた。
敵襲は2週間に1回ほど、早朝未だ
薄暗い内に砲撃があり、その後で歩兵
が突入してきた。そして2〜3名の負
傷者を出すと引き揚げる。その繰り返し

編集後記

▶みなさまお元気ですか。▶空が高く見えます。しのぎ
易くなりましたが、夏の疲れが出る時期。個人差もあり
ますが、この歳になると全力投球は難しいですね。調子
はどうだ?心と体に問いかけてみましょう。明日への活
力につなげるためにも、自分をいたわりましょう。▶気の
合った仲間と手作り弁当で、近くの野山に出かけてみま
せんか。繊維質を多く含むもの、薬効のあるキノコ類を
多く摂取。さわやかに楽しく暮らしましょう。